

著書

- ・「公判前整理手続を活かす」分担執筆（2005年11月30日）現代人文社
- ・「法廷弁護技術」分担執筆（2007年7月20日）現代人文社
- ・「被告人の事情／弁護人の主張 裁判員になるあなたへ」編著（2009年5月）法律文化社
- ・「裁判員裁判 刑事弁護マニュアル」編著（2009年8月25日）第一法規
- ・「公判前整理手続を活かす〔第2版〕」分担執筆（2011年7月30日）現代人文社
- ・「死刑と向きあう裁判員のために」分担執筆（2011年4月10日）現代人文社
- ・「絞首刑は残虐な刑罰ではないのか？」共同執筆（2011年10月30日）現代人文社
- ・「実践！ 刑事弁護異議マニュアル」分担執筆（2011年11月30日）現代人文社
- ・「死刑事件の弁護」（実務体系「現代の刑事弁護2」（2013年9月25日））第一法規
- ・「医療安全と医療訴訟」分担執筆（2014年2月10日）アトムス
- ・「死刑事件の審理のあり方」（「シリーズ刑事司法を考える2 『捜査と弁護』」（2017年8月23日））岩波書店
- ・「被疑者及び参考人の取調べ」（『刑事手続の新展開（上）』（2017年9月15日））成文堂
- ・「否認事件の弁護」（編著、2023年、現代人文社）

論文

- ・「裁判員裁判と情状弁護」（2006年11月）「自由と正義」57巻第11号
- ・「公判前整理手続の現状と裁判員裁判の審理のあり方」（2007年）「刑法雑誌」47巻第1号
- ・「裁判員時代の『最終弁論』」季刊刑事弁護55号（2008年7月）
- ・「本当に絞首刑は残虐な刑罰ではないのか？」季刊刑事弁護61号（2010年1月）
- ・「本当に絞首刑は残虐な刑罰ではないのか？（その2）」季刊刑事弁護67号（2011年7月）
- ・「医療における刑事訴追」臨床婦人科産科第71巻第12号（2017年12月10日）
- ・「院内医療事故調査と医療裁判」麻酔67巻11号（2018年11月）

講演・講師等

- 「裁判官裁判と裁判員裁判」（2011年12月16日）福岡県弁護士会
- 「医療事故が刑事事件になったとき」（2012年9月21日）京都桂病院
- 「接見妨害国賠から機器利用国賠への流れ」（2013年9月20日）近畿弁護士連合会
- 「控訴審の弁護」（2014年1月28日）愛知弁護士会
- 「死刑弁護研修」（2014年2月20日）福岡県弁護士会
- 「可視化の下での刑事弁護」（2014年3月5日）兵庫県弁護士会
- 「もう一歩先の反対尋問」（2014年6月19日）刑事弁護フォーラム
- 「裁判員裁判と死刑」（2014年12月10日）花園大学

「医療事故と刑事事件」(2019年3月1日) 日本集中治療医学会学術集会
「刑事弁護について」(2019年6月14日) 福岡県弁護士会
『季刊刑事弁護』100号記念模擬裁判」(2019年11月2日) 現代人文社
「医療事故の調査と捜査」(2020年12月6日) 医療安全特別セミナー

* 著書・論文、講師等は、主なもの一部のみ掲載しています。